

導入事例

Microsoft Surface Hub 2S + Teams

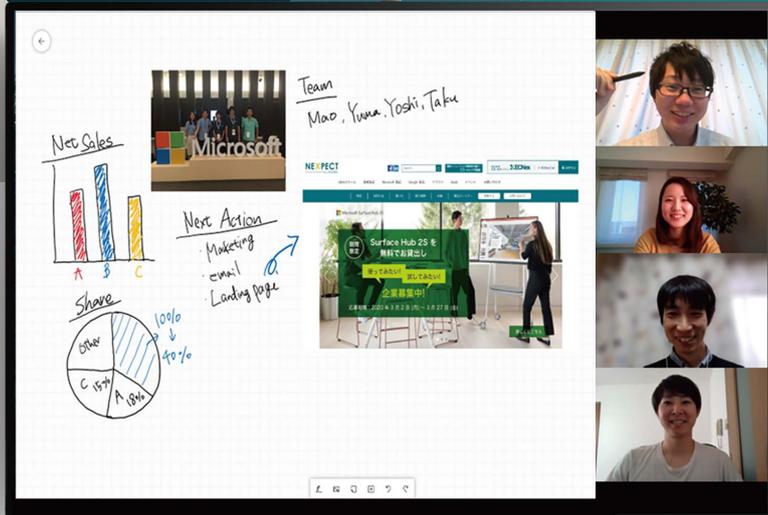
「ニューノーマル」な働き方の実現へ

～ Microsoft で叶える在宅・オフィス間のシームレス連携～

Your
Trusted,

technology and solution advisor.

SOLUTION
Report



シネックスジャパンは、米国 SYNNEX Corporation の日本法人です。シネックスジャパンは、従来の卸売ビジネスに加え、お客様の課題を解決するために国内外の製品・サービスを組み合わせたソリューション提案を行うことで、「ハイブリッドディストリビューター」としての付加価値を提供しております。また、e コマースやデジタルマーケティングにより、ビジネスパートナー様からエンドユーザー様まで幅広くサービスをご提供いたします。

- POINT 01 ● 社員がSurface Pro などモダンPCを使用、withコロナでもストレスゼロの在宅勤務。
- POINT 02 ● オフィスではSurface Hub 2S を使ってWeb会議など活用。ペーパーレス化に一役。
- POINT 03 ● IT管理者が製品選定をし、普及もサポート。社内ではなかなか進まなかった Teams の普及には社長のチャンネルを設け、定期的に発信することで社員に広く普及。

「テレワーク」が一般的になる前からモバイル勤務を開始



プロダクトマネジメント部門 第2プロダクトマネジメント本部
PM1部 モダンワークプレイスビジネス開発チーム チーム長
兼 情報システム本部 インフラ管理グループ グループ長
小林 充幸

シネックスジャパンは、1962年に関東電子機器販売株式会社からスタートし、2010年「SYNNEX グループ」の傘下に入った。米国本社では、営業テリトリーが広大なため、モバイル営業という形態で、自宅を拠点に営業活動を行っている。「日本でもそれに倣い、2010年ごろから全国の営業所を閉鎖して、

内勤営業機能を本社に集約、各拠点の外勤営業は自宅を中心にモバイル営業として活動を始めました。また、モバイル営業向けに、ノートPCとiPhoneを配布し、メールを受信する際もVPN接続など、手間はかかるものの、どこにいても連絡が取れる環境の整備を進めました。」(小林)

社内インフラ整備とBCP(事業継続計画)対策と社員のためのテレワーク導入

モバイル営業の整備と並行して、社内インフラもアップデートの必要があり、2011年にサービスを開始したMicrosoft社のOffice365を2013年に導入。これにより、スマートフォンなどで、メールや社内資料の確認が、外出先でも容易になった。また、スマートフォンにインストールしたSkype(現

在はMicrosoft Teamsに移行)を使って、外出中でも気軽にチャットや通話が可能になった。

2017年に古くなったPCをすべて入れ替えることになった際に、BCP対策を含め、天災などいざという時のために社員が自宅勤務に対応できるよう、内勤者向けのデスクトップ

PCをノートPCに変更。要介護者と同居する社員や、妊娠・育児期間を含め中学生未満のお子さんを養育する社員など、一部の社員を対象にテレワークを試験的に行い、そのフィードバックを参考にしつつ、業務を行う上での人事的なガイドラインを取り決めた上で、部署を絞り、試験的に運用を開始。

テレワークへの不安要素と、それを解消するツール

テレワーク本格導入に先立ち、社員へのアンケートをとった。代表的な意見としてあがったのは、効率を落とさずに会社と同じ仕事が家でできるかどうかという懸念。仕事の On/Off の切り替えというメリハリの問題。対面が減ることでコミュニケーション不足に陥らないかという懸念。コミュニケーションツールは、社内の固定電話を IP 電話に切り替え、スマートフォンのアプリでの使用を可能にした。加えて、受信した FAX を紙で出力はせず、データとしてサーバに保存した。「この2つは、テレワークというよ

りは、経費削減という観点からプロジェクトを進めていたものでしたが、結果としてテレワーク時のボトルネックが解消できました。また、自宅や外出先、オフィスでも Web 会議は Teams を活用しています。ツールを全社員に浸透させるには苦労もありましたが、Teams で社長のチャンネルがあり、自ら発信するなど上層部も活用することで、広く社員への周知に成功しました。」(小林)

オフィスでは Microsoft Surface Hub 2S (以下 Hub 2S) などのコラボレーションホワイ

トボードや、ロジクール Tap などの Web 会議システムを各会議室に設置し、社内外の方と常時コミュニケーションが取れる状態になっている。Teams ではアカウントなしで会議に参加ができ、Hub 2S は社内外の方々の Web 会議でも活用。画面の共有が可能のため、資料をプリントアウトする必要がなく、ペーパーレス化を実現できる。また、双方の書き込みが可能なホワイトボード機能や会議中にチャット機能を利用し、オフラインでの打ち合わせと遜色のない会議を実現している。

オンラインセミナーや全社会議で Teams ライブイベントを活用

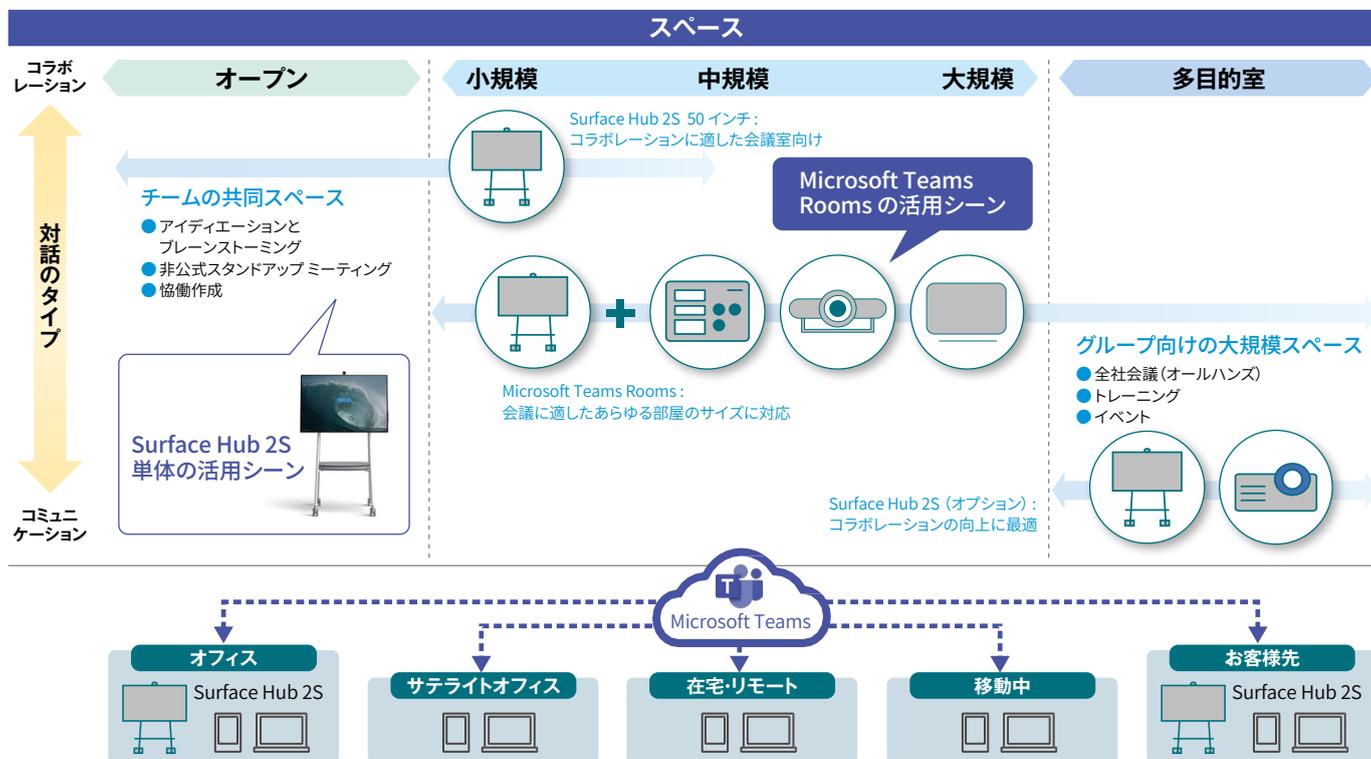
「新型コロナウイルスの影響を受け、4月に入りオフラインのセミナーを全てオンラインに切り替えて開催しております。弊社では、全社会議やウェビナーでは Microsoft Teams ライブイベントを活用しています。Teams ライブイベントの大きな特徴としては、最大1万人の参加が可能であること、セミナー中にもチャット機能で登壇者に質問が出来ること、参加者はストーリーミングで会議を視聴することで

す。また主催者側としては、参加者がミュートでの参加を促されるためオンオフを気にする必要がなく、加えて録画は自動で開始されるため、セミナーの進行のみに集中ができることが利点かと思います。どこの企業でも会議、ウェビナー、そして全社会議などでオンラインが主になっているでしょうし、Teams は『with コロナ』、『after コロナ』時期の両方において重宝されるサービスと感じます。」(松元)



デジタル・トランスフォーメーション&マーケティング部門
マーケティング本部 松元 美絵

● Microsoft Teams を基盤としたオンライン会議ソリューション



● お問合せ・お見積りは下記までお願い致します。



シネックスジャパン株式会社

Email : pr@synnex.co.jp

※Microsoft、Microsoft Surface Hub 2S、Microsoft Teamsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※掲載されている社名又は製品名は、各社の商標又は登録商標です。

©2020 SYNNEX Japan Corp.